

令和3年度

教育委員会活動の点検及び評価報告書

令和4年11月

京丹後市教育委員会

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第二十六条の規定に基づき、令和3年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たつては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

京丹後市教育委員会委員名簿（令和3年度末現在）

職名	氏名
教育長	松本 明彦
教育長職務代理者	野木 三司
委員	久下 多賀子
委員	田村 浩章
委員	安達 京子

目 次

○自己点検・評価について

○教育に関する学識経験者の意見

I 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況 ······	1
2. 教育委員会委員の主な活動 ······	5

II 施策評価・進捗管理調書

【重点目標 1】就学前の子どもの教育・保育環境を充実します ······	7
--------------------------------------	---

- ① 就学前教育の環境整備
- ② 保育所、認定こども園及び小学校の連携強化

【重点目標 2】確かな学力・生き抜く力を育みます ······	17
---------------------------------	----

- ① 小中一貫教育の推進
- ② 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上
- ③ 確かな学力の育成
- ④ 社会を生き抜く力の育成

【重点目標 3】子どもを健やかに育む教育環境を充実します ······	30
-------------------------------------	----

- ① 子どもの安全・安心の確保
- ② 学校施設環境等の整備充実
- ③ 個に応じた支援体制の充実
- ④ ボランティアによる学習支援の推進
- ⑤ 教職員が子どもと向き合える環境づくりの推進

【重点目標 4】豊かな人間性・社会性を育みます ······	50
--------------------------------	----

- ① 人を思いやり、尊重する社会性の育成
- ② 生徒指導体制、教育相談体制の充実
- ③ 家庭・地域の教育力の向上
- ④ 文化芸術を通じた豊かな感性、情緒の育成

【重点目標 5】生涯にわたる豊かな学びを支援します ······	63
----------------------------------	----

- ① 生涯学習の体制づくり
- ② 人権教育の推進
- ③ 社会教育施設等の整備充実

【重点目標 6】歴史・文化芸術を活かし、豊かな感性と郷土への愛着と誇りを育みます ······	75
---	----

- ① 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実
- ② 地域の文化財の総合的な保存と活用
- ③ 資料館施設等の整備充実
- ④ 文化芸術活動の推進

【重点目標 7】たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します ···	84
--	----

- ① 健康な体づくり
- ② 食育の推進
- ③ 地域スポーツ活動の推進
- ④ 競技力の向上
- ⑤ 社会体育施設等の整備充実
- ⑥ スポーツ観光のまちづくり

III 学校評価自己評価

学園毎評価・学校評価自己評価

1. 学園小中一貫、こども園、学校評価自己評価報告一覧 ······	95
2. 学園小中一貫教育報告書 ······	98
3. 学校評価自己評価報告（こども園、小・中学校） ······	122

自己点検・評価について

令和3年度の教育活動を振り返って

令和3年度の教育行政は、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」の実現に向け、さまざまな教育施策を推進してきました。

令和元年度から3年度にかけての新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の一斉臨時休業や行事などの延期や中止を余儀なくされましたが、一方で行事の規模縮小など感染対策に努めながら教育活動を進めました。

平成28年度より全市展開となりました京丹後市の最も大きな教育振興策である「小中一貫教育」は、令和2年度から「保幼小中一貫教育」と名称を変更し、「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、6つの学園が特色を生かしながら、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指す教育活動に取組みました。

今年度は、「保幼」の教育・保育を発信するため、峰山こども園において京丹後市教育フォーラムを実施しました。保育参観を行ったあと、「乳幼児期の教育・保育の研究・実践について」と題し実践報告を行い、幼児教育の大切さや10年間ではぐくみたい力をめざし、一貫教育を進めていることを市内に広めることができました。

子育て支援関係では、公営の保育所、幼保連携型認定こども園で、保育業務の負担軽減や、保護者の利便性向上を目的に、保育業務支援システムを導入しました。また、放課後児童クラブは継続して10か所開設し、子どもたちの安全・安心な放課後の健全な育成に取り組むとともに、令和2年11月から峰山放課後児童クラブで開始しました日曜日・祝日の開設を通年で実施しました。市内8か所に設置している子育て支援センターでは、子育て相談・交流・ふれあいの場として、身近な地域で子育て支援を実施している一方、網野地域子育て支援センターでは、旧保育所を活用し、登録者のクラス分けをすることなく自由に利用できる環境を整備し、子育て支援の充実を図っています。さらに、市内の事業所等が行う授乳用設備等の整備に要する経費を助成し、子育て支援環境の充実に努めました。

学校教育関係では、令和2年度まで10年間にわたって実施してきた京丹後市学校再配置基本計画について、計画期間後においても複式学級の発生が見込まれる学校があることから、この計画を引き継ぎ、今後10年間を見据えた計画と策定すべく、対象となる地域・保護者に対して説明会・意見交換会を開催し、計画に対する理解を深める取組を行い、京丹後市学校適正配置基本計画を策定しました。また、語学力の向上及び国際的視野を持った人材の育成を目的に、平成28年度から取り組んでいる

「中学生海外派遣事業」は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により現地派遣は中止となりましたが、他国の文化や言語に触れ国際的視野を持てるよう「オンラインホームステイ」を実施し、15人の生徒それぞれがオンラインによりフィリピンホストファミリーと交流を深めながら貴重な成果等を得ることができました。学習環境の整備では、網野北・島津小学校の2校のトイレ洋式化事業が完了するとともに、「新しい生活様式」を踏まえ、6中学校の特別教室空調化事業が完了するなど教育環境の整備に努めました。また、国のGIGAスクール構想に基づき、全小中学校に整備した高速校内LAN環境及び、児童・生徒・教職員1人1台のタブレット端末の活用を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による学校の学年・学級閉鎖時にオンライン授業を実施するなど、学びの保障の取組を実施しました。

今後もGIGAスクール構想の実現に向けたICT環境の利活用を着実に実施していきます。

社会教育関係では、新型コロナウイルス感染症拡大で計画どおりの事業実施が困難な状況でしたが、地域公民館を中心に乳幼児から高齢者まで各世代を対象とした学習機会の確保に努めることができました。また、図書館事業では、Wi-Fi接続サービスや図書除菌機の導入など新たな取組により、利用者数がコロナ禍前の水準に回復しました。社会体育関係でも感染症拡大による事業の中止や縮小を余儀なくされましたが、はごろも陸上競技場での「市民陸上記録会」の実施や久美浜湾カヌーセンターを活用した東京2020オリンピックのスペイン及びポルトガル代表チームの事前合宿受入などスポーツのまちづくりを進めることができました。

文化財保護関係では、今後の文化財の保存・活用の方向性を示すものとして、京丹後市文化財保存活用地域計画の策定を進めました。また網野銚子山古墳の整備に向け市史跡整備検討委員会及び文化庁等の指導を受け、実施設計及び環境整備工事を実施しました。

このように、令和3年度は、保幼小中一貫教育の推進、子どもの放課後対策や子育て支援、学校適正配置の取組、国際交流事業の推進、学習環境の整備、スポーツ振興の推進、文化財保存活用の検討、施設の改修整備など本市の懸案となっている課題の解消に向けてさらなる取組を進めてきました。本市教育振興計画の「京丹後市が目指す教育」の達成に向け、今後もさまざまな教育活動を推進していきます。

令和4年11月

京丹後市教育委員会

教育に関する学識経験者の意見

1 外部評価者 職名 京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授
氏名 竹沙 知章
令和4年10月20日（評価を行った日）

2 序論

令和3年度では、前年度に引き続き、京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」の実現に向け、さまざまな教育施策が推進されてきた。京丹後市の将来を見据えた施策が展開されている。

また新型コロナウイルス感染症の影響も大きく、その対応に苦慮した一年であったと思う。コロナ禍において、感染対策を万全にしながら、いかにして、教育の目標を達成していくか、その工夫が重要であったと思う。

本意見書では、「教育委員会活動の点検及び評価報告書」（以下、「報告書」）を主として分析し、また各種の資料や教育委員会会議や総合教育会議の議事録も参照しながら、中長期的な視点から策定されている京丹後市の教育振興計画の基本理念がどのように実現されようとしているか、その視点から意見を述べるとともに、新型コロナウイルス感染症への対応について、適切に点検評価がなされているかという視点からも意見を述べることにしたい。

3 主な施策等の成果と課題

（1）教育委員の活動について

コロナ禍で制約がある状況においても、教育委員会会議、総合教育会議、管内視察、研修会など教育委員として必要な活動が活発に適切に展開されていたと評価することができる。

教育委員会会議は、12回の定例会議と5回の臨時会議が開催されていた。臨時会議が、必要な時に、負担を厭わず開催されていることは、重要事項を迅速に意思決定することにつながり、大切なことだと思う。7月の定例会議では教職員の働き方改革について、11月の定例会議では学校適正配置基本計画について、2月の臨時会議では予算や共同学校事務室などについて、議題となり、ていねいで、活発な審議がなされていたことが印象に残る。

また、総合教育会議は2回開催されていた。第1回（7月18日）では、いじめ・不登校について、GIGAスクール構想の進捗状況について、第2次京丹後市総合計画「基本計画」について、教育大綱について、第2回（10月28日）では、いじめ・不登校について、令和4年度当初予算について、教育大綱について、議題として取り上げられ、活発な意見交換がなされていた。いじめ・不登校の問題、教育大綱については、2回とも議題となつておらず、関心の高さが伝わってくる。

教育委員会は合議制の行政機関であることから、市にとって重要な課題について、じっくりと協議、意見交換を行い、意思決定していくことが重要である。京丹後市の教育委員会は、制度の理念をしっかりと実現している自治体であると思う。

（2）重点目標に関する活動について

1) 保幼小中一貫教育の推進について

「保幼小中一貫教育」と名称変更されて、2年目となる令和3年度においては、教育フォーラムが峰山こども園において開催され、こども園の公開保育と乳幼児期の教育・保育の取り組みの紹介がされたことが注目される。こども園の実践に、小学校、中学校の教職員が直接触れ、その取り組みについて共に学ぶ機会が設けられたことになり、こども園と小学校、中学校とのつながりを強化することになったものと思われる。就学前のこども園と小・中学校との交流、協議がさらに深まっていくことが望まれる。このことは、報告書の「重点目標1 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します」の今後の施策展開の考え方において、「保幼小の情報共有や教職員の交流と相互理解を深めるなど、小学校教育への円滑な接続を図るための取り組みの充実を図る」と適切に述べられている。

また、令和3年度は、学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとして本格的に活動を始めた年でもあった。各学園において、学校、家庭、地域が連携して、「保幼小中一貫教育」を推進する体制が、制度として整備されたことになる。各学園の評価報告書を見ると、軌道に乗り、成果を上げているところもあれば、コロナ禍の影響もうけ、予定通り活動できなかつたところもあったようで、学園間で差異が見られるようである。各学園の地域の特色も大切にしつつ、相互に情報交換もしながら、進めていただければと思う。教育委員会

と同様に、各学園においても、学校運営協議会の仕組みの中で、学校、家庭、地域の関係者の間の質の高い熟議が行われることが期待される。

2) 社会を生き抜く力の育成について

目標指標値の「将来の夢や目標を持っている生徒の割合<中学生>」が、令和元年度以降、若干ではあるが、低下しており、90%の目標達成ができるのか、懸念される状況のように思われる。「丹後学」、GIGAスクール情報機器整備、国際交流事業など、京丹後市の特色ある取り組みが着実に取り組まれているので、それらをさらに充実させていくことが必要であろう。その点で、令和4年度の予算で、STEAM教育の推進を図るグローバル人材育成事業が注目される。短期的に成果が生まれる取り組みではないことから、 性急に成果を求めるうことなく、着実に取り組んでいただきたい。

また「将来の夢や目標を持っている生徒」を育てようとするならば、教員自身が夢や目標を持っているか、ということも問われるようだ。

3) 生徒指導体制、教育相談体制の充実について

いじめ・不登校の問題は、総合教育会議で常に議題とされており、市の重要な課題として認識されている。

不登校の出現率は、計画策定時と比べると、かなり上昇している。全国的傾向であるが、京丹後市特有の問題もあると思われることから、しっかりと向き合い、取り組むことが求められる。不登校は、あくまで学校に通えないという現象を示しているだけであり、何が問題なのか、問題そのものを捉えた概念ではない。したがって、学校としては、何が問題なのか、じっくりと探ることが必要となる。個人の問題でもあることは確かであるが、不登校になっている児童・生徒への個別対応だけではなく、むしろそれ以上に、学校教育全体の問題として取り組んでいくことが求められる。各学校の評価報告書を見ると、例えば、「魅力ある学校づくりを行うとともに、誰もが自他の笑顔があふれることを願いつながることができる取組を充実させることにより、全員登校5割以上を目指す」という記述があり、特定の児童・生徒への個別的な支援を超えた教育の課題として認識されていることが読み取ることができ、重要な視点である。

いじめの認知件数、認知率は、令和2年度と比較して、令和3年度は増加した。コロナ禍による学校生活の制約の影響が表れていることも考えられる。児童・生徒は、ストレスを感じているため、些細なことがいじめと認知してしまうということも考えられる。児童・生徒が、お互いを思いやり、安心して、楽しく学校生活を送ることができるように、そのような集団、仲間を作ることができる力を育成していくことが必要となる。教員には、実態の把握や、集団を形成する力量の育成のための指導力が求められるであろう。

いじめ防止に関しては、いじめ防止啓発推進事業やいじめ防止対策等運営事業により、いじめ防止のための市の体制が適切に整備されている。いじめ相談専用電話や子どもSNS(LINE)相談窓口が設置され、子どもの悩みに、市が直接応える体制が整備されていることが注目される。このような窓口を通して、子どもの実態把握の質が高まることが期待できる。事業の成果・課題において、教員の指導力や学校の対応力の向上があげられており、引き続き、適切な対応が進められると思う。

4 総括

保幼小中一貫教育を核として、GIGAスクール構想の実現、国際交流として中学生の海外派遣事業など、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて活動に制約を受けながらも、その趣旨を実現するための工夫を重ね、着実に取り組みがなされていると評価できる。学園、こども園、小学校、中学校それぞれの点検・評価も、ていねいに、具体的に報告書が作成されており、それぞれの特色、成果と課題が明確に示されていると思う。

5 総合評価

京丹後市では、重要な課題については、しっかりと議論を行ったうえで、計画を策定し、中長期の展望を持ちながら、継続して、組織的に取り組む体制が整っていると言える。令和3年度においては、「教職員の働き方改革実行計画」の改定、「京丹後市学校適正配置基本計画」の策定が行われた。いずれも関係者と時間をかけて議論してまとめられた計画である。こうした諸計画をもとに、目標、課題を共有しながら取り組む体制となっていることから、点検・評価も適切に実施することが可能となっていると思われる。引き続き、熟議を大切にして、教育委員会、学校、地域、家庭が連携して、教育の充実を図り、まちづくりを進展していただきたいと思う。

教育に関する学識経験者の意見

1 外部評価者

職名 京都文教大学 総合社会学部総合社会学科 教授

氏名 澤 達大

令和4年10月23日（評価を行った日）

2 序論

令和3年度『教育委員会活動の点検及び評価報告書』、ならびに関係部署が発行する各資料に基づき、自己点検評価の点検を行った。新型コロナウイルス感染症は教育施策にも多くの影響を与えたが、感染防止に努めながら従来の活動を取り戻す動きが社会全体で見られた。各部署において、報告書には表れない陰の努力を膨大に積み重ねたものと察する。関係各位のご尽力に敬意を表したい。

一方で、コロナ禍を契機に、自治体によっては従来ルーティンとして行ってきた社会教育事業等を改めて見直す動きもみられる。必要と判断される事業は継続しつつも、「これまで問題がなかったから今後もこのままで良い」という姿勢ではなく、より一層PDCAサイクルを働き、社会の変化や住民のニーズ等に合わせた事業の見直しも必要と思われる。そのような観点も含め、以下のとおり意見を論じる。

3 本論

（1）教育委員会の活動状況

定例会・臨時会は例年どおり18回開催され、各種事業の展開に必要な議案が審議されたことが伺える。「押印に関する見直し・整理等」の議案も見受けられたが、行政機関は依然として紙文化の残るもの、形式的な文書の簡略化やDX化が今後進むものと期待できる。

活動の中でも京丹後市教育フォーラムについて、別紙のフォーラムまとめを拝読すると、参加者アンケートも満足度が非常に高いだけでなく、フォーラムの成果と課題、今後の展開に関する方向性が検討されている点は高く評価できる。また、研修会への参加の内容で「非認知能力」や「脳科学の知見を活かした教育」は、すべての教員や家庭が知り指導や子育てに生かす内容である。研修で得られた情報等を、参加委員が現場に伝え、意識の変化をもたらすことを期待したい。

p.5-6のうち、小・中学校の入学式・卒業式を報告者は気がかりにしている。自治体によって学校運営協議委員等の紹介や教育委員会告示に時間を費やす例が散見される。コロナ禍で式典が縮小・簡略化したことを契機に、教育委員会側からも児童・生徒が主人公の式典の在り方を検討していただきたい。

（2）施策評価・進捗管理調書

重点目標5, 6, 7における施策進捗状況の自己評価は▲（少し遅れている）であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりやむを得ない。むしろ予算縮小等を恐れて評価を高く見積ることがない点で適切といえる。前述のとおり従来の事業等の見直しを図るチャンスと捉え、今後も住民のニーズ把握をしながら事業を展開していただきたい。以下、重点目標1, 2, 3, 5, 7について述べる。

<重点目標1 就学前の子どもの教育・保育環境の充実>

少子高齢・人口減少の社会において、子育て環境の充実は若年層の定着につながる。京丹後は地域で子育てを支えていることが報告書から伺えた。テレワークに伴う若年層の移住人口を獲得する潜在能力が京丹後市にはある。今後は、事業を展開する中で、子育て世代の声を関係各部署に届ける任務もあるものと考えられ、部署間の連携を図ることが求められる。

<重点目標2 確かな学力・生き抜く力の育成>

目標指標の中で、授業時間以外の自宅での学習時間が目標値まで達していない状況は懸念される事項である。少子化により高校・大学とも全入時代となった現在、児童・生徒に対しては、この学習がどのような力を身に付け、将来何に役立つかを明示し、動機付けを図る

必要がある。また、将来の夢や希望を持てない生徒の割合が高いことも懸念事項である。生きる力の資質・能力の柱の1つである「学びに向かう力・人間性」と関係するが、自らの人生を振り返り、今後の生き方を考えるキャリア教育を充実させる必要がある。これは、重点目標4 豊かな人間性・社会性を育む（p. 53）とも関連する内容である。

京丹後市は地域を素材にした豊かな教育を展開できる地であり、「丹後学」はまさに1つのコンテンツである。各校にタブレット等のICT機器が配置されたが、ドリル学習はタブレットを活用することで、教科書的な基礎学力の定着とともに、教員の採点業務の軽減や児童・生徒のつまずきのデータ獲得にもつながる。その分、授業時間は思考力を重視する取組みに転換するなど、大胆な改善が求められる。

＜重点目標3 教育環境の整備＞

安全・安心の確保については、ハード・ソフト両面から展開されていることが伺えた。一方で、別資料の通学路等安全推進会議「通学路等交通安全プログラム」を拝読すると、せっかくの貴重な情報が組織内に埋もれているように感じた。具体的には、対策一覧で詳細な場所を記しているものの、写真がなく現場感がつかめず、巻末地図も縮尺が大きく地域の詳細まで把握できない。地域住民が、子どもの安全確保の視点を持つことは重要で、広く情報を周知し、地域から情報を収集するための工夫の必要性を感じた。

＜重点目標5 生涯にわたる豊かな学びの支援＞

生涯学習は高齢社会の中で、独居で地域とつながりを持てない高齢者の閉じこもり防止の観点から、健康長寿福祉部との連携も重要である。教養講座の参加者数も報告されているが、常連客だけに留まらない事業展開を期待したい。事業の中で、図書館の貸出冊数の減少は精査する必要がある。コロナ禍以外にインターネットからの情報入手の増加など、様々な要因が考えられるが、スマートホン普及による子育て時の読み聞かせの減少や、若年層の活字離れが原因とするならば、読解力の欠如に伴う学力低下に直結する課題になりうる。解決策として学校図書館との連携による図書活用も検討すべき事項と思われる。

＜重点目標7 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツの推進＞

東京2020オリンピック・パラリンピックについては、計画どおり実施できなかった事業もあり、残念だったかと思う。一方で今後スポーツは、地域振興のコンテンツとして重要なことが予想される。市民の健康促進を優先させながらも、地域が活性化しスポーツ・体づくりへの取組みを促す事業の展開を期待したい。

（3）学校評価自己評価

小中一貫教育にとどまらず、保・幼との連携も行うことで、1人ひとりの子どもの成長が見え、それぞれの段階の教育の見直しにもつながっている印象を受けた。それぞれの段階で包み隠さず情報交換することにより、よい教育が展開されるものと思われる。

4 総括

教育委員会活動の点検及び自己評価について、参考となる客観的資料が多く、内容も整理されており、非常にわかりやすい点は、関係各位の努力の賜物と感じられる。一方、膨大な資料作成に時間を取られるあまり、本来の業務遂行に支障をきたさないよう、常に改善の視点を持ち続けることも必要に思われる。

5 総合評価（意見等）

地域外の人材が地域づくりの担い手となる「関係人口」の重要性が近年認識されている。教育委員会が関係人口増加に貢献できることとして、学校教育では「ふるさと・京丹後の魅力」を生徒が認識すること、社会教育ではジオパークや文化財等の観光資源の整備やスポーツ大会誘致等を図ることなどが挙げられる。市民向けの地道な通常業務とともに、市の将来に関わる事業を積極的に推進することを期待したい。

I 教育委員会の活動状況

I 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催状況（令和3年4月～令和4年3月）

教育委員会議は、毎月1回「定例会」を、また必要に応じて「臨時会」を開催し、令和3年度は合計18回開催しました。

(1) 教育委員会定例会… 12回

(2) 教育委員会臨時会… 6回

○令和3年度 教育委員会審議案件等一覧

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
令和3年4月1日	4月 定例会		教育長職務代理者の指名について
		33	京丹後市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について
		34	京丹後市立こども園・保育所内科医、歯科医及び薬剤師の委嘱について
		報告3号	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について
令和3年5月6日	5月 定例会	35	京丹後市社会教育委員の解嘱及び委嘱について
		36	京丹後市図書館協議会委員の解任及び任命について
		37	一般社団法人京丹後青年会議所5月例会 共に学び、つながる～地域学習にズームイン～の開催に係る後援について
		38	第1回海の京都KIDS・U-13陸上競技大会の開催に係る後援について
		39	第54回北丹陸上競技選手権大会の開催に係る後援について
		40	第22回京都府北部小学生クラブ陸上記録会の開催に係る後援について
		報告4号	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について
		報告5号	京丹後市立学校評議員の委嘱について
		報告6号	京丹後市学校運営協議会委員の委嘱について
		報告7号	京丹後市史跡整備検討委員会委員の委嘱について
令和3年5月17日	5月 臨時会	報告8号	京丹後市教育委員会事務局職員に係る苦情申立書への対応について
令和3年6月1日	6月 定例会	41	京丹後市保幼小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について
		42	京丹後市史跡整備検討委員会委員の委嘱について
		報告9号	京丹後市教育支援委員会委員の委嘱について
		報告10号	京丹後市学校給食献立作成委員会委員の委嘱について
		報告11号	京丹後市学校運営協議会委員の委嘱について
		報告12号	公文書部分公開決定等に係る審査請求について
		報告13号	市立幼稚園におけるパワーハラスメントを起因とする損害賠償請求訴訟に係る判決について
令和3年6月18日	6月 臨時会	報告14号	京丹後市立湊小学校旧校舎解体撤去等工事に係る工事請負契約の締結について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
令和3年7月1日	7月定例会	43	京丹後市教職員の働き方改革実行計画の改定について
		44	京丹後市野村克也杯学童野球大会開催事業補助金交付要綱の制定について
		45	一般社団法人京丹後青年会議所 7月例会オンライン防災脱出ゲーム～家族みんなで災害から逃げ切ろう！～の開催に係る後援について
		報告15号	京丹後市教育振興計画進捗管理について
令和3年8月2日	8月定例会	46	京丹後市文化芸術振興審議会委員の委嘱について
		報告16号	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について
		報告17号	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
		報告18号	公益財団法人京丹後市公園緑化事業団の経営状況について
		報告19号	公文書部分公開決定等に係る審査請求の裁決について
令和3年8月25日	8月臨時会	47	令和4年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について
		48	令和4年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について
		49	京丹後市文化芸術振興計画の策定に係る諮問について
令和3年9月1日	9月定例会	50	京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業保育料徴収条例施行規則の一部改正について
		51	京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金交付要綱の一部改正について
令和3年10月1日	10月定例会	52	京丹後市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例施行規則の一部改正について
		53	京丹後市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱の制定について
		報告20号	公文書部分公開決定等に係る審査請求について
令和3年11月4日	11月定例会	54	京丹後市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について
		55	令和2年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
		56	京丹後市学校適正配置基本計画の策定について
		報告21号	個人情報部分開示決定及び個人情報不存在決定に係る審査請求について
		報告22号	京丹後市子ども未来まちづくり審議会からの答申について
令和3年12月1日	12月定例会	57	京丹後市文化国際交流アドバイザー就任記念事業田中彩子京丹後公演及び子ども達との交流会の開催に係る後援について
		58	地域愛で育む無限の未来の子どもたちへの開催に係る後援について
		59	AAR JAPAN チャリティ公演 モノオペラ『ガラシャ』の開催に係る後援について
		報告23号	京丹後市立湊小学校旧校舎解体撤去等工事請負契約の変更について
		報告24号	公文書部分公開決定等に係る審査請求の裁決について
		報告25号	個人情報不訂正決定等に係る審査請求について
令和4年1月4日	1月定例会	1	京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金交付要綱の一部改正について
		2	京丹後市文化財保存活用地域計画策定協議会設置要綱の一部改正について

年月日	会議名	議案番号	議 案 件 名
令和4年1月4日	1月定例会	3	欠番
		4	令和4年度全国学力・学習状況調査の実施について
		報告1号	京丹後市教育委員会の不適正事務等に対する審査請求について
令和4年2月1日	2月定例会	5	専決処分の承認について（令和3年度京丹後市青少年健全育成会 平田オリザ講演会の開催に係る共催について）
		6	京丹後市立学校ハラスメント防止等要綱の一部改正について
		7	社会福祉法人よさのうみ福祉会40周年記念わがまちのアーティスト展の開催に係る後援について
		報告2号	個人情報不訂正決定等に係る審査請求の裁決について
		報告3号	公文書部分公開決定等に係る審査請求について
		報告4号	令和4年度以降の京丹後市成人式の在り方について
		8	令和4年度教育委員会関係予算について
令和4年2月14日	2月臨時会	9	令和4年度「学校教育指導の重点」について
		10	令和4年度「社会教育推進の重点」について
		11	京丹後市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
		12	京丹後市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
		13	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例の一部改正について
		14	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例施行規則の一部改正について
		15	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について
		報告5号	欠番
		報告6号	個人情報不訂正決定等に対する審査請求について
		報告7号	個人情報不開示決定等に係る審査請求の裁決について
令和4年3月1日	3月定例会	16	令和4年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
		17	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
		報告8号	個人情報不訂正決定に係る審査請求について
		18	令和4年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
		19	京丹後市奨学金条例施行規則及び京丹後市峰山林業総合センター条例施行規則の一部改正について
		20	京丹後市高等学校全国募集入学生応援補助金交付要綱及び京丹後市定住促進奨学金返還支援補助金交付要綱の一部改正について
		報告9号	個人情報部分訂正決定に係る審査請求の裁決について
令和4年3月14日	3月臨時会	21	京丹後市放課後児童健全育成事業実施条例施行規則の一部改正について
		22	京丹後市学校体育施設等の利用等に関する条例施行規則及び京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
		23	京丹後市久美浜湾カヌーセンターライセンス条例施行規則の一部改正について

年月日	会議名	議案番号	議案件名
令和4年3月23日	3月臨時会	24	令和4年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
		25	申請、届出等の押印見直しに伴う関係規則の整理について
		26	申請、届出等の押印見直しに伴う関係告示の整理について
		27	京丹後市子育て支援センター事業実施要綱の一部改正について
		報告10号	個人情報不訂正決定に係る審査請求について

2. 教育委員会委員の主な活動

(1)管内視察実施状況 5箇所(久美浜湾カヌーセンター、丹後地域公民館、丹後小学校、大宮第一小学校、網野地域子育て支援センター)

所管施設を訪問し、各施設の参観や職員と懇談の中で、教育委員会の施策が十分反映されているか、今課題となっている事項等状況把握に努めました。

(2)管外視察実施状況 2箇所(兵庫県あかし市民図書館、兵庫県養父市文化会館)

・兵庫県あかし市民図書館(複合施設への移転後の運営状況及び効果と課題、施設概要及び見学)

・兵庫県養父市文化会館(建設後の管理運営形態に係る効果と課題、施設概要及び見学)

(3)教育委員協議会開催状況 3回

京丹後市学校適正配置基本計画(案)について

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

京丹後市立網野学校給食センター整備基本計画(案)について

(4)総合教育会議 2回

第2次京丹後市総合計画「基本計画」、教育大綱について、京丹後市いじめの現状及び令和4年度当初予算編成における検討事項等について市長と協議・意見交換を行いました。

(5)各種研修会・視察の参加 5回

文部科学省、京都府教育委員会連合会等が主催する研修会等（オンライン開催含む）にも積極的に参加し、教育行政の諸課題について情報提供を受けました。

月	月 日	件 名	場 所
4月	3. 4. 5	市内保育所入所・進級式	市内各保育所
	3. 4. 6	市内認定こども園入園・進級式	市内各認定こども園
	3. 4. 7	市内小学校入学式	市内各小学校
	3. 4. 8	市内中学校入学式	市内各中学校
	3. 4. 14	第1回校(園) 長、保育所長会議	アグリセンター大宮
5月	3. 5. 17	令和3年度丹後地方教育委員会連合会定期総会	※書面開催
	3. 5. 28	令和3年度京都府市町村教育委員会連合会定期総会	※書面開催
7月	3. 7. 8	教育委員任命通知書交付式 (安達京子委員)	京丹後市役所
10月	3. 10. 20	丹後地方教育委員会連合会教育委員等研修会 演題『学力テストで測れない非認知能力を伸ばすために』 講師 岡山大学全学教育・学生支援機構 准教授 中山芳一氏	宮津市福祉・教育総合プラザ
	3. 10. 21	令和3年度京丹後市教育フォーラム 研究主題『乳幼児期の教育・保育からつなぐ遊びの中の学び』 ～一人一人がキラリと輝く瞬間を大切に～	京丹後市立峰山こども園
	3. 10. 27	京丹後チャレンジデー2021	京丹後市内
11月	3. 11. 1	令和3年度近畿市町村教育委員会研修大会 (1) 基調講演 演題『脳科学の知見を活かした教育』 講師 東北大学大学院 教授 川島隆太氏 (2) 実践発表 演題『川島隆太先生と創る小野市の「夢と希望の教育」』 講師 小野市教育委員会学校教育部長 藤原正伸氏	兵庫県尼崎市 尼崎市総合文化センター
	3. 11. 12	京都府内市町(組合) 教育委員会研修会 (1)講演『教職員・子ども達の頑張りを生かすためのヒント』 ～国際的な視点からの振り返り～ 講師 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課 教育制度改革室長 白井 俊氏 (2)講演『子どもの育ちと学びをつなぐ幼少接続の推進』 講師 京都教育大学 教授 古賀 松香氏	大宮庁舎 (オンライン開催)

月	月 日	件 名	場 所
12月	3. 12. 8	令和3年度いじめ防止講演会 テーマ『不登校、いじめについての理解を深めるために』 ～30余年、不登校の子どもたちの教育に携わる中で～ 講師 聖母の小さな学校（京都府教育委員会認定リースクール） 梅澤 良子氏	アグリセンター大宮
2月	4. 2. 10	令和3年度市町村教育委員会オンライン協議会 分科会テーマ「第1分科会：地域と学校の連携・協働について」 「第2分科会：学校における働き方改革について」 「第3分科会：教育の情報化について」	大宮庁舎 (オンライン開催)
3月	3. 3. 12	京丹後市立中学校卒業式	市内各中学校
	3. 3. 21	令和4年京丹後市成人式	京都府丹後文化会館
	3. 3. 23	京丹後市立小学校卒業式	市内各小学校
	3. 3. 24	京丹後市立認定こども園卒園式	市立各認定こども園
	3. 3. 27	京丹後市立保育所修了式	市立各保育所